

事業番号	07 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州地酒振興事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課日本酒・ワイン振興室		
				実施期間	H14～	E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進			2-3 海外との未来志向の連携			2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		

1 現状と課題

- ・本県の地酒生産は、恵まれた気候や高い醸造技術を活かし、日本酒の酒蔵数は78蔵、ワイナリー数は71場と全国トップクラスの地位を誇っている。
- ・日本酒では、県内酒蔵の醸造技術者の若返りが進行しつつある。また、ワインでは新規参入者が相次いでワイナリーを開設している。
- ・地酒の消費は、コロナ禍や若者の酒離れにより伸び悩んでいる。
- ・技術者の醸造技術の向上やGI長野認定酒等の認知度向上に向けた取組みを進める必要がある。

2 事業目的

信州地酒産業の活性化を図るため、県産原料等を用いた日本酒やワイン等の品質向上とブランド化を促進し、認知度向上を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①地酒のブランド力の強化及び情報発信

- ・酒類の地理的表示「長野」(GI長野)や長野県原産地呼称管理制度(NAC)認定酒のブランド価値向上を図るため、長野県原産地呼称管理委員会の運営支援やGI長野認定酒等の認知度向上に向けた情報発信を実施
- ・消費が減少している地酒の需要拡大を図るため、観光・飲食事業者等と連携したイベント等への支援を実施
- ・技術者の醸造技術向上や国内外での販路拡大を図るため、国際コンクールへの出品支援を実施

② 信州ならではの純米酒造りへの支援

- ・消費者に選ばれ親しまれる日本酒づくりを進めるため、外部講師による酒蔵の醸造技術者向け研修会等を実施
- ・県産酒造好適米による醸造を進めるため、製造工程研究等への支援を実施

③地域に根ざしたNAGANO WINE文化の創出

- ・若手醸造家等の醸造技術の向上を図るため、里親ワイナリーと連携した研修会等の実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	全国新酒鑑評会での純米酒入賞数	場	16		13	↘	16	↗	18	未達成	全国新酒鑑評会での入賞率を80%にすることを長期的な成果目標として設定し、3年目となる令和4年度は70%を目標とした。
②	日本ワインコンクール入賞数	品	中止		中止	—	70	—	80	未達成	日本ワインコンクールでの入賞率を70%にすることを長期的な成果目標として設定し、3年目となる令和4年度は60%を目標とした。

5 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	118,508	33,126	98,000	249,634	26,357	138,407	3.5
R3年度	0	36,329	370,132	406,461	28,771	230,878	4.0
R2年度	0	35,186	△ 3,763	31,423	30,214	29,336	4.0

事業番号	07 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	信州地酒振興事業		部局	産業労働部	課・室	産業技術課日本酒・ワイン振興室		

6 主な取組実績と成果

<p>①地酒のブランド力の強化及び情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州地酒の酒質を高め、ブランド力の向上による消費拡大を図るため、ワイン・シードル官能審査委員会を4回、日本酒・焼酎官能審査委員会を3回開催した。 ・G I 長野認定酒の魅力を発信し認知度向上を図るため、オンラインによる動画配信等を1回実施した。 ・県内外でのNAGANO WINEのブランド力向上を図るため、業界団体が実施するイベント等の取組みを1回支援した。 ・国際コンクールへの出品支援は、11場（のべ59品）に支援を実施した。
<p>②信州ならではの純米酒づくりへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国新酒鑑評会での純米酒入賞数増加をめざし、スーパーバイザーによる酒蔵への技術指導等を実施した結果、16点が入賞した。
<p>③地域に根差したNAGANO WINE文化の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手醸造家や新規参入希望者が醸造の基礎を学ぶ里親ワイナリー醸造技術研修を実施し、4場で4人が受講した。 ・ワイナリーのワイン醸造技術の向上に向け、工業技術総合センターに成分分析機器を導入し、醸造技術者向け研修会を実施することにより、県産ワインの品質向上へつなげた。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	全国新酒鑑評会での純米酒入賞数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
<p>全国新酒鑑評会で上位入賞する出品酒の多くは兵庫県産の酒造好適米「山田錦」を用い、アルコールを添加した吟醸酒である。本県は県産酒造好適米による純米酒の出品が多いため純米酒入賞数は、目標に達しなかったものの、全国トップレベルの入賞数を誇っている。</p>							
指標②	日本ワインコンクール入賞数	R3年度推移	—	R4年度推移	—	達成状況	未達成
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続でコンクールが中止となり、全国の出品数や入賞数が減少するなか、本県は前回コンクール並みに入賞している。特に金賞数は全国1位を獲得するなど実力を示しつつある。</p>							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国新酒鑑評会での純米酒入賞場数については、安定して上位入賞するようになってきており、引き続き長野県酒造組合等と連携し酒蔵の醸造技術者の技術向上に向けた取組みを進めていく。 ・日本ワインコンクール入賞数については、技術者の醸造技術向上に向け、県工業技術総合センターや長野県ワイン協会と連携した相談体制の強化等の取組みが必要である。
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国新酒鑑評会や日本ワインコンクールで得られた出品酒のデータ分析等を進め、醸造技術の向上に向けた取組みを進めるとともに、関係団体との連携を強化し、事業内容の再構築を図る。

事業名	信州地酒振興事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課日本酒・ワイン振興室
-----	----------	----	-------	-----	-----------------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	長野県原産地呼称管理制度運営事業	7,078 千円	7,056 千円	6,182 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県原産地呼称管理制度運営負担金	負担金	県産品を原料とする日本酒、焼酎、ワイン、シードル及び県産米のブランド価値の向上を図るため、それぞれの品目の専門家による官能審査委員会（日本酒3回、ワイン4回、シードル2回、焼酎・米1回）を行った。なお、日本酒・ワインにおいては酒類の地理的表示(GI)として認定を行った （負担先：長野県原産地呼称管理委員会） 認定件数：350件	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	信州日本酒全国No.1プロジェクト事業	13,945 千円	12,591 千円	12,098 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	純米酒醸造技術向上指導	委託	外部の醸造専門家による、酒蔵への技術指導や全国新酒鑑評会受賞酒の酒質解析、出品用酒の原料分析等を実施し、上位入賞に向けた取組みを支援 （委託先：長野県酒造組合） 全国新酒鑑評会受賞酒酒質解析伝達研修会：4回、60名参加	
2	県産米の純米酒醸造研究	直接	県内酒蔵が、県産酒造好適米の特性を踏まえた醸造を行えるよう純米酒製造工程の研究を行うとともに、醸造技術者を対象とした技術指導研修会を開催 県産酒造好適米醸造技術研修会：1回、69名参加	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	信州日本酒PR事業	324 千円	2,000 千円	900 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ブックレットによる情報発信	委託	信州地酒の特徴である県産酒造好適米や各酒蔵の酒造りに対する思い等を掲載した日本酒ブックレットの英語版を作成 印刷部数：5,000部	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	信州ワインバレー構想推進事業	440 千円	311 千円	256 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州ワインバレー構想推進協議会負担金	負担金	ワインを中心とした地域産業の活性化を図る、信州ワインバレー構想推進協議会の開催や地域ワインバレーの活動強化に向けた支援を実施 （負担先：信州ワインバレー構想推進協議会） ワインツーリズム専門家による講演：1回 地域ワインバレーへの支援：4地区	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	ワイン・シードル醸造技術支援事業	385 千円	544 千円	750 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	里親ワイナリーによる醸造技術研修	直接	ワイナリー開設希望者の醸造技術向上を図るため、里親ワイナリーによる醸造技術研修を実施 里親登録ワイナリー：18件、里親研修受講実績：4名	
2	ワイン・シードルに関する研修会の開催	直接	ワイン・シードル醸造事業者の醸造技術等の向上を図る研修会を開催 研修会：3回	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	NAGANO WINEブランド発信事業	5,114 千円	10,629 千円	6,099 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	NAGANO WINEの ブランド力向上	補助金	県内外でのNAGANO WINEのブランド力向上を図るため、業界団体が実施するPR、商談イベント等の取組を支援 (補助金交付先：長野県ワイン協会) GI NAGANO WINE Fes. in NAGANOの開催：1回、700名参加	
2	NAGANO WINEの情報発信	委託	NAGANO WINEのブランド力向上を図るため、県内ワイナリーの最新情報を掲載したブックレットの作成やホームページの更新を実施 (委託先：NAGANO WINE応援団運営委員会) NAGANO WINEブックレットの作成：5,000部	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	信州地酒消費促進事業	- 千円	- 千円	5,019 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	オンラインによる「GI長野」情報発信	委託	全国の一般消費者および酒販・飲食店事業者等に「GI長野」の魅力と価値を周知啓発するため、有識者による「GI長野」解説動画の作成・発信及び専門誌等を活用した発信を行うとともに、「GI長野」認定酒利き酒イベントを開催 GI長野発信イベント：1回、19名	
2	信州カンパイFES負担金	負担金	信州地酒の認知度向上を図るため、イベントを通じた信州地酒で乾杯の日の普及と理解を深める取組を支援 信州カンパイFES参加者数：103人	
3	国際コンクール出品支援	補助金	信州地酒のブランド力向上を図るため、国際コンクールに出品する酒蔵やワイナリーに対して支援を実施 出品支援件数：16件	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
8	信州地酒消費拡大緊急対策事業		2,050 千円	197,526 千円	107,103 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	プレミアム付き地酒専用クーポン券の発行	委託	コロナ禍により消費が減少した信州地酒の需要を喚起するため、プレミアム付きの地酒専用クーポン券を発行（第2弾）【R4.1専決】 クーポン発行冊数：80,000冊		